

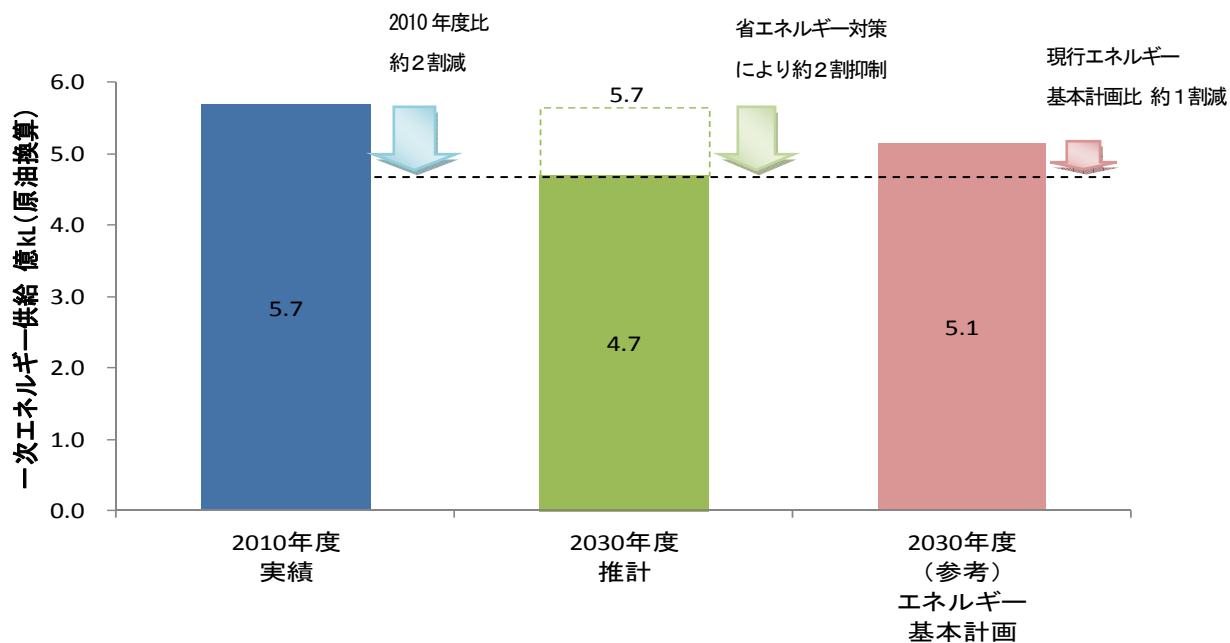
⑥一次エネルギー供給、最終エネルギー消費量及びエネルギー起源ＣＯ２排出量（2030年）の推計

一次エネルギー供給、最終エネルギー消費量及びエネルギー起源ＣＯ２排出量については、発電電力量と同様に、慎重ケース（2010年代で実質 GDP が年率 1.1%、2020年代で年率 0.8%）によるマクロ想定を前提に推計を行った（P43, 44 図⑤、⑥、表④、図⑦、P63～65 補論①～③参照）。

その際、非電力部門については、各選択肢に共通して次のような対策を講じることがを想定した。まず、現行のエネルギー基本計画が掲げる各般の対策の維持強化を想定した。具体的には、i) 排熱の有効活用や分散型電源の普及を加速化させるため、天然ガスコージェネレーションシステムの導入拡大、ii) 電気自動車・燃料電池車等の次世代自動車の普及拡大、iii) 高効率給湯器の普及拡大などが一例である。

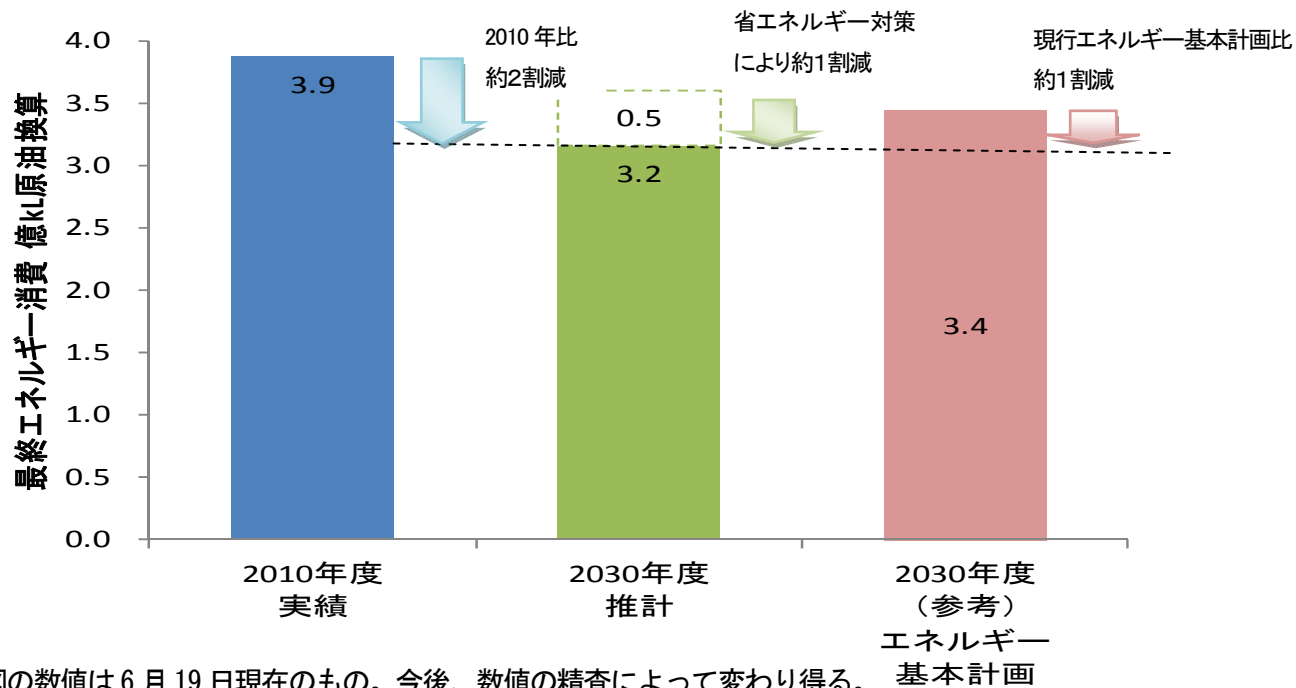
さらに、現行のエネルギー基本計画では想定していない、i) 未利用エネルギーを複数の事業所等で活用するエネルギーの面的利用の促進、ii) 住宅・建築物の省エネ性能向上を図るため、建築材料等のトップランナー制度の対象化といった新規対策も想定した。

【図⑤】 一次エネルギー供給の推計



(※) 図の数値は6月19日現在のもの。今後、数値の精査によって変わり得る。

【図⑥】 最終エネルギー消費量の推計



(※) 図の数値は6月19日現在のもの。今後、数値の精査によって変わり得る。

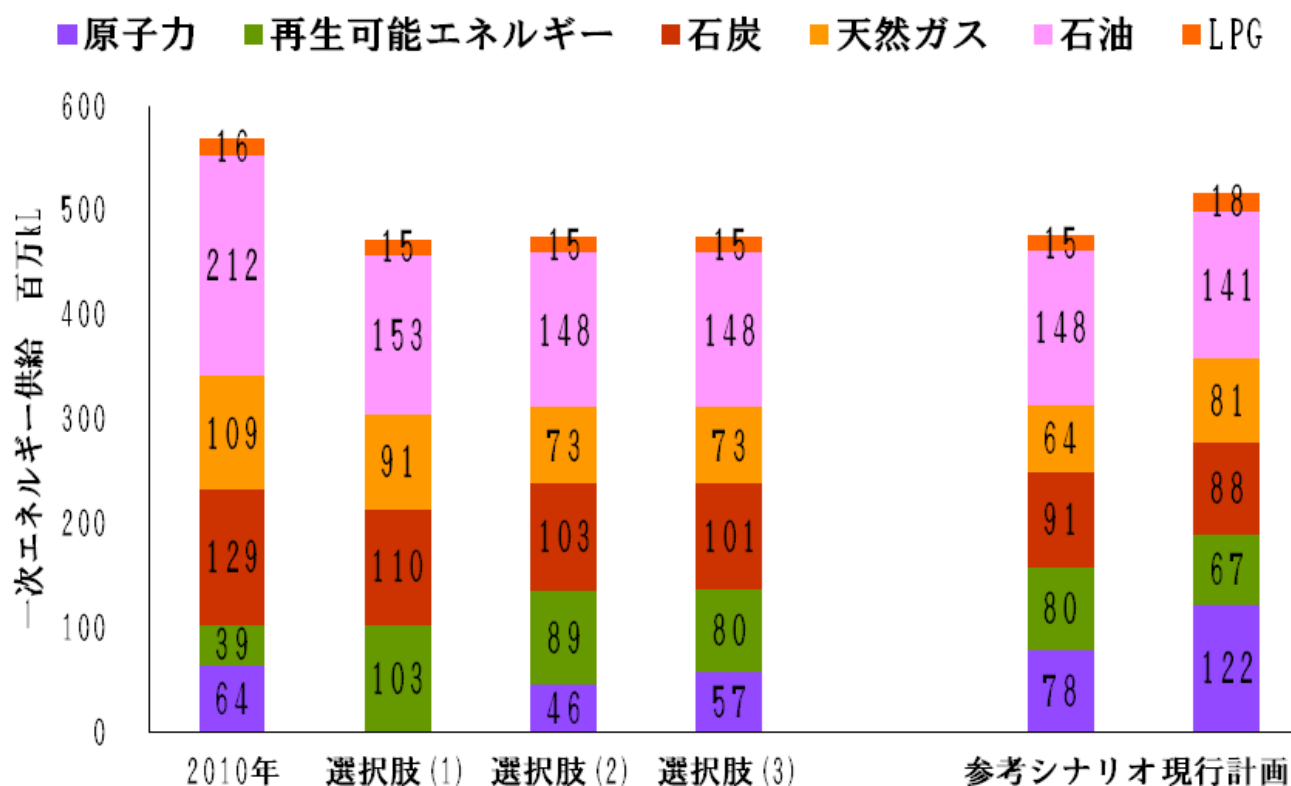
【表④】 各選択枝の一次エネルギー供給構成（一次エネルギー総供給に占める割合）

の推計

	原子力発電	再生可能 エネルギー	石炭	天然ガス	石油	L P G	エネルギー起 源 CO2 排出量 (1990 年比 (再掲))
選択枝 (1)	0%	22%	23%	21%	32%	3%	▲16%
選択枝 (2)	7%	19%	22%	17%	32%	3%	▲20%
選択枝 (3)	10～12%	17～19%	21～22%	15～16%	31%	3%	▲23%
参考シナリオ	16%	17%	19%	13%	31%	3%	▲28%
現行計画	24%	13%	17%	16%	28%	3%	▲31%
2010 年度	11%	7%	23%	19%	37%	3%	+6%

(※) 表の数値は 6 月 19 日現在のもの。今後、数値の精査によって変わり得る。

【図⑦】 各選択枝の一次エネルギー供給の水準



(※) 図の数値は 6 月 19 日現在のもの。今後、数値の精査によって変わり得る。